

## 研 修 ( 研 究 ) 報 告 書

令和5年3月31日

玉名市議会

議 長 近松 恵美子 様

氏名 浜田 繁次郎



下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	浜田 繁次郎		
日 時	令和4年4月25日（月） 午前10時00分 ～ 午後 0時30分		
場 所	自宅にてオンライン	参加者数	
研修(研究)事項	絶対的質問力		
概要及び所見	<p>概要 仕方がないでは始まらない／したい質問より聞きたい質問 みんなの不満を形にせよ／時流を読み／時代はどこへ進むのか</p> <p>所見 良い一般質問とは何だろう。要求が通る質問だろうか。一般質問 が目指すところはその質問によって行政側が受け入れることが 必要になる。 争点を具体化すること。一般質問をデータで強化すること。質問 の実施をめぐって留意すること。</p>		

## 研修(研究)報告書

令和5年3月31日

玉名市議会

議長 近松 恵美子 様

氏名 浜田 繁次郎



下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	中村慎吾 浜田繁次郎 田浦敏晴 立川信之 坂本公司 西川裕文 中尾嘉男 作本幸男		
日時	令和4年7月19日(火) 午後2時00分 ~ 午後4時30分		
場所	リファレンス新有楽町ビル	参加者数	30人
研修(研究)事項	質問作成虎の巻(前京都市議会議員) 講師: 村山祥栄(大正大学客員教授)		
概要及び所見	<p>概要 議員にとって「結果とは何か」 唸る質問の作り方 一目置かれる質問のポイント。すごいと思われる切り返しのポイント。必殺キーワードを駆使せよ。</p> <p>所見 一般質問を行なうには、自前の情報収集や調査等が大事である。 市民に分かりやすく伝えるため内容を十分に把握し市民が納得できるような質問に努める。</p>		

## 研修(研究)報告書

令和5年3月31日

玉名市議会

議長 近松 恵美子 様

氏名 浜田 繁次郎




下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	中村慎吾 浜田繁次郎 田浦敏晴 立川信之 坂本公司 西川裕文 中尾嘉男 作本幸男 江田 計司		
日時	令和4年7月20日(火) 午前10時00分 ~ 午後 0時30分		
場所	リファレンス新有楽町ビル	参加者数	30人
研修(研究)事項	急激悪化地方の財政歳入増加策 講師 村山祥栄 (大正大学客員教授・前京都市議会議員)		
概要及び所見	概要 コロナで悪化する地方財政の課題とは/自治体財政圧迫の主要因 /決算の必要性と活用事例/ふるさと納税の活用事例/法定外税 と地方交付税の関係/歳入増加策の政策提案  所見 各自治体の税収減、コロナ対策で財政基金を切り崩しなどにより 地方財政は非常に厳しい状況である。 決算については、議員が承認した予算の執行状況の確認や課題抽出 などの振り返りを行ない次の予算に反映させる。 ふるさと納税の積極的な活用により歳入を増やす取組が必要である。		

## 陳情（要請）活動報告書

令和4年7月22日

玉名市議会議長 様

氏名 浜田 繁次郎 

下記のとおり、陳情（要請）活動を行いましたので報告します。

活動議員・同行者	中村慎吾、浜田繁次郎、田浦敏晴、立川信之、坂本公司、 西川裕文、江田計司、作本幸男、中尾嘉男		
日 時	令和4年7月20日（水）～令和4年7月21日（木） 午後3時00分 ～ 午後0時00分		
訪 問 先	衆参議員会館	参加者数	9人
活 動 事 項	有明海沿岸道路等の早期整備について		
訪問先の面会者	西野太亮衆議、坂本哲志衆議、金子恭之衆議 馬場成志参議、本田顕子参議など		
内 容	<p>将来高い確率で起こり得る巨大災害に対処していくためにも、未調査区間の整備が急務であり、とりわけ、災害時における工業製品や農産物等への被害が甚大であると考えられることから「大牟田市（三池港IC）～長洲町」区間に加え、「長洲町～熊本市」区間の整備に向けて、県選出国會議員等に対し、下記事項を主に要請活動を行なった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 有明海沿岸道路全線の国直轄による早期整備。</li> <li>2 有明海沿岸道路「大牟田市（三池港IC）～荒尾市」区間の早期整備を図られること。</li> <li>3 三池港IC連絡路を早期に完成させること。</li> <li>4 大牟田市（三池港IC）～長洲町区間の早期事業化。</li> <li>5 長洲町～熊本市区間の事業化に向けて、「長洲町～玉名市」区間の計画段階評価を実施すること。</li> <li>6 有明海沿岸道路のため必要な予算の総額を確保すること。</li> <li>7 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を計画的に実施できるよう当初予算での総額を確保すること。</li> </ol>		